



非住宅部門  
事例

15

空き家利活用コンテスト2024 最優秀賞

## 稲妻飯店

城下町の古民家・和菓子店が、  
異国の風を感じられる台湾料理店へ



和菓子屋時代の棚を改修してリメイク。元々あったものに手を加えて残す施主のこだわりが形になっている。

鹿野城下の風情に惹かれ、この地で料理店を開くことを決意。NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会の協力のもと巡り合った和菓子店兼住居だった築100年以上の物件は、街の中心に位置し、人通りの多い好立地。古き良き建物を活かしながらも、新しい風を吹き込む空間づくりをめざした。

改修では、既存の間取りを活かしつつ、一部天井を翡翠色に塗装し、トルコランプを設置することで異国情緒を演出。一方で、空き家に残されていた明治時代の菓子道具や文机をディスプレイし、かつての歴史を感じられる工夫も凝らした。テーブル席と畳の座敷席を用意し、赤ちゃんからお年寄りまで快適に過ごせる空間を実現。

DIYを積極的に取り入れ、壁の撤去や塗装、畳やフローリング材などの手配を自ら行うことでコストを削減。年末年始も作業を続け、観光客の多い春の花見シーズンに間に合わせた。

開業後は、地域住民が集う憩いの場として親しまれ、城下町の自治会などの利用も増加。週末には居酒屋として営業し、古民家の落ち着きと異国の雰囲気が融合した、唯一無二の空間を提供している。



壁を抜いてカウンターキッチンに。材料は工務店にアドバイスをもらいながら自分で手配しコスト削減に努めた。



もともと土間だった場所にキッチンを設けた。キッチンレイアウトは動線など使いやすさを重視している。



押入れだったスペースは、ふすまを外し古道具などをインテリアとして展示スペースに。トルコランプと和の空間が融合した異国情緒のある表情に仕上げた。





家具やお皿などの一部は周辺の住人から譲り受けた。鹿野町のあたたかいコミュニティとのつながりを感じる。



[ DATA ]

- 【所在地】鳥取市鹿野町 【構造】木造2階建て
- 【築年月】明治40年頃
- 【改修後の用途】店舗（飲食店）
- 【間取り構成】LDK・個室7屋・キッチン・トイレ・風呂
- 【改修期間】2023年11月～2024年3月
- 【改修費用】約580万円
- 【設計者】有限会社気高木工製作所